



平成30年10月9日

各位

上場会社名 株式会社IDOM  
 代表者 代表取締役社長 羽鳥 由宇介  
 (コード番号 7599)  
 問合せ先責任者 経理・財務・IRセクションリーダー 松本 雅之  
 (TEL 03-5208-5503)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年4月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成31年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	142,800	2,700	2,300	1,150	11.34
今回修正予想(B)	143,900	450	△100	△600	△5.92
増減額(B-A)	1,100	△2,250	△2,400	△1,750	
増減率(%)	0.8	△83.3	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年2月期第2四半期)	135,468	2,528	2,032	1,121	11.06

平成31年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	290,000	7,600	6,800	3,900	38.46
今回修正予想(B)	290,000	3,000	2,000	700	6.90
増減額(B-A)	0	△4,600	△4,800	△3,200	
増減率(%)	0.0	△60.5	△70.6	△82.1	
(ご参考)前期実績 (平成30年2月期)	276,157	6,779	5,797	3,578	35.29

平成31年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	111,100	2,700	1,700	16.76
今回修正予想(B)	110,600	100	△400	△3.94
増減額(B-A)	△500	△2,600	△2,100	
増減率(%)	△0.5	△96.3	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年2月期第2四半期)	107,606	2,489	1,504	14.83

平成31年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	225,000	7,000	4,450	43.88
今回修正予想(B)	225,000	2,400	1,100	10.85
増減額(B-A)	0	△4,600	△3,350	
増減率(%)	0.0	△65.7	△75.3	
(ご参考)前期実績 (平成30年2月期)	215,777	6,851	4,324	42.65

#### 修正の理由

当第2四半期累計期間(上期)においては、連結売上高は143,900百万円と計画並みとなる一方、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の通り前回予想を下回る見込みとなりました。国内直営店において、本年4月後半より、中古車販売の価格設計及び店舗営業施策を転換したことに伴い、小売1台あたりの利益が計画を下回った結果、個別の売上総利益が計画比で約11%減少する見込みとなったためです。

上記の上期減益要因には対策を講じ、第2四半期後半から第3四半期前半(9月)にかけて、台あたり利益や小売台数の対前年同月比の下落幅は改善が進んでいるものの、通期業績予想については、下期において第2四半期までの改善に留まる可能性を鑑み、それを前提とし修正いたします。また、通期における親会社株主に帰属する当期純利益については、9月の台風および地震の影響をうけて一部商品在庫および店舗に損害が発生したことをうけ、約200百万円の特別損失の計上を織り込んでいます。

なお、配当予想に変更はありません。当社では、「前期における親会社株主に帰属する当期純利益×30%」で算出される金額を配当総額とし、当期の1株当たり配当金を決定する方法を採用しており、既に確定した前期業績の実績をもとに当期の配当金を決定しているためです。

以 上